



## 第3章 ふるさとの技が輝く 活力あふれるまちづくり

### 第1節 農林業の振興

#### 1 現状と課題

##### 【農業】

農業は、携わる人びとの生活はもちろんのこと、市全体の産業、経済に大きな影響を及ぼす本市の基幹産業ですが、近年の農業従事者の高齢化や農業を継続していくことが困難な農家の増加が、農地の荒廃につながっていく懸念があります。

国では、すべての農業者を対象に品目別に講じられていた経営安定対策を見直し、担い手の経営に焦点を当てた品目横断的な仕組みとすることにより、構造改革の加速化や需要に応じた生産を推進し、WTO（世界貿易機関）における国際規律にも対応できる政策体系に転換していくことにしています。

農産物貿易のグローバル化の進展によって、農産物価格の下落傾向が今後も予測される中、生産性の向上による低コスト化のための担い手の育成と農用地の集積とともに、所得の確保を図るための付加価値の高い農産物生産が求められています。

加えて、農産物の販路拡大と誘客拡大を図るため、生産過程や自然環境を理解し関心を持ってもらう交流の取り組みが求められています。

##### 【林業・内水面漁業】

森林は、木材をはじめとするさまざまな林産物の供給や、国土の保全、水源のかん養、自然に親しむ場として、安全で快適な市民生活の維持向上に大きな役割を担っていますが、長期にわたる木材価格の低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足などにより、森林における生産活動が停滞し、林業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。

今後は、林業経営体の基盤強化、森林整備を推進するとともに、観光や体験学習、環境教育の場としての利活用を推進する必要があります。

また、市内を流れる自然豊かな雄物川、皆瀬川、役内川は、そこに生息する鮎をはじめとした溪流魚などが豊富なことから、これらを資源として活用していくことが求められています。

#### 2 目標

収益性の高い農林業生産体制を構築します。

### 3 基本方針

- 農畜産物生産振興と流通販売対策** …… 農畜産物生産振興と流通販売対策に向けた取り組みを支援することにより、農業経営の体質強化を図ります。
- 農業経営基盤の充実・強化** …… 認定農業者や集落営農組織などの担い手及び定年後参入者を含む新規就農者の育成を支援することにより、農業経営基盤の充実・強化を図ります。
- 農業振興指導体制の充実・強化** …… 先進的な農業生産技術の実証と普及、気象情報等の迅速な伝達、担い手組織等の育成・支援により、農業生産の拡大及び所得の向上を推進します。
- 農業生産基盤の整備** …… ほ場、農道、用水路等の整備と長寿命化を図るとともに、農村環境の保全・向上を図ります。
- 環境保全型農業の推進** …… 耕畜連携を促進し、安全安心な農畜産物生産に向けた取り組みを支援することにより、環境保全型農業を推進します。
- 農山村地域の活性化** …… 農山村の自然環境や生産環境などの資源を活用した交流体験等のグリーンツーリズム※活動を推進することにより、新たな収入源の創造による地域の活性化を図ります。
- 林業基盤の整備促進** …… 林産物の生産と、森林が有する生物の多様性の保全や地球環境の保全、水源かん養などの多面的機能の維持管理を行うため、林道及び作業道の整備を図ります。
- 森林機能の保全** …… 森林は、広く市民に恩恵をもたらす「緑の社会資本」であることから、森林の持つ多面的な機能維持のため、市民や林業・木材産業関係者ととも森林の保全活動を推進します。
- 内水面漁業の振興** …… 魚族の確保と釣り人などの観光客の増加を図るため、河川環境の保全とともに、雄物川、皆瀬川、役内川における鮎などの稚魚放流活動を支援します。

※グリーンツーリズム

都市の住民が農山村に滞在し、地域の自然や文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動





## 【施策体系図】



## 4 主な取り組み

施策名	施策の内容	
(1) 農畜産物生産振興と流通販売対策	①	担い手の育成に資する農業機械等の導入を支援します。
	②	農家、農業団体とともに戦略作物の作付け拡大の取り組みを推進します。
	③	りんご共同選果場整備による出荷品質の向上を支援します。
	④	市単独補助、融資制度の活用により幅広い農業者の取り組みを支援します。
	⑤	農産物等加工施設整備による地産地消及び消費者との体験交流を支援します。
	⑥	女性農業者の主体的な生活研究活動を支援します。
	⑦	地域農産物を学校給食等へ供給拡大するための支援を行います。
	⑧	地場産農産物の産地直販活動を支援します。

施策名	施策の内容
(2) 農業経営基盤の充実・強化	① 認定農業者や集落営農などの担い手への支援を行います。
	② 新規就農者への支援を行います。【1.4.5へ再掲】【5.2.2へ再掲】
	③ 湯沢農業振興地域整備計画の策定・管理等を行います。
	④ 担い手への農地の利用集積を促進し、耕作放棄地の発生防止、優良農地の確保を図ります。
(3) 農業振興指導体制の充実・強化	① 農業振興センターを核とした営農指導体制の充実・強化を図ります。
(4) 農業生産基盤の整備促進	① 農道や農業水利施設等の整備を進めます。また、施設の長寿命化を図ります。
	② 集落の農用地や農業水利施設の保全活動と集落機能の活性化活動を実施する地域活動に対し、支援します。
	③ ほ場区画整備を進めます。
(5) 環境保全型農業の推進	① 有機、減農薬、減化学肥料栽培を促進します。
	② 完熟堆肥の使用による安全で安心な農畜産物生産を推進します。
	③ 農業用使用済プラスチック処理と、農業者主体の回収処理システムの構築を図ります。
(6) 農山村地域の活性化	① 農業生産条件が不利な傾斜農地について、農業生産活動の持続を支援します。
	② 耕作地を有しない市民を対象とした農園を設置します。
	③ グリーンツーリズム活動のリーダーやサポーターの育成と情報の収集・発信を行います。
	④ 地域の生産活動拠点として、米、野菜、果実の加工を行います。
(7) 林業基盤の整備促進	① 林道施設の長寿命化を図ります。
	② 密度の高い道路網整備を実施し、高能率林業機械の導入を図れる団地を整備します。
	③ 国、県と連携し、治山事業を行います。
	④ 国・県の制度である造林補助金の導入を進めます。
	⑤ 森林機能を高める活動に対し、交付金を支給します。【1.1.2へ再掲】
(8) 森林機能の保全	① 緑の募金活動を推進し、市民の自主的な緑化活動に対し支援します。
	② 自然鳥獣の保護をしつつ、有害鳥獣の駆除を進めます。
	③ 公益的機能を持つ松林等を対象に、被害木の伐倒駆除、予防防除を行います。【1.1.2へ再掲】
	④ 広葉樹林の保護育成と病虫害被害の拡散・防止に努めます。【1.1.2へ再掲】
	⑤ 森林生産組織の育成・強化の拠点施設を建設します。
	⑥ 森林公園を維持・整備します。【1.1.2へ再掲】
(9) 内水面漁業の振興	① 稚魚放流を促進し、魚族の確保並びに河川環境の改善を図ります。【1.1.1へ再掲】



## 5 目標とする指標

指標名	単位	現状	目標
農業生産法人数	団体	19	25
新規就業者数	人	7	10
農用地集積率	%	37.2	50
ほ場整備率	%	73.6	74
米の特別栽培面積	ha	122	250
市民農園加入者数	人	22	30
グリーンツーリズム活動実践者数	人	2	20
林道密度	m/ha	10.8	12





## 第2節 商工業の振興

### 1 現状と課題

#### 【商業】

消費者ニーズの多様化、消費者の行動範囲の広域化、大型店の郊外への進出、商店街の空き店舗の増加、高齢化や後継者不足など商業を取り巻く環境は大きく変化し、中心市街地の空洞化が進んでいます。

今後は、市の顔にふさわしいにぎわいのある中心市街地づくりを図るため、事業者や商工団体等への支援による振興体制や経営基盤の強化などが必要であるほか、商工団体等の関係機関と連携しながら、魅力ある商店街づくりや来街者に対する集客・誘導施策などを展開していく必要があります。

また、買い物以外に市民が集い、憩い、ふれあい、交流することができる街なかのコミュニティ拠点づくりが求められています。

#### 【工業】

本市の工業は、湯沢銘酒、稲庭うどん、川連漆器、曲木家具といった全国的に有名な地場産業のほか、精密機器や電子部品などにおいても中小企業が多く、企業業績が国際情勢や景気の変動などに大きく左右される状況にあります。

今後は、地域の特性を生かした新たな地場製品の開発やPRの強化により、地場産業の振興及び活性化が求められています。

また、長引く景気低迷の影響により、市内中小企業の経営基盤の安定と経営改善が求められており、企業の意識改革や競争力の強化、人材育成などを図る必要があります。

加えて、企業誘致や新たに立地する企業への支援のほか、地元企業の雇用増加などによる地域経済の向上を図ることが必要となっています。

### 2 目標

市街地におけるにぎわいと活気ある商店街づくりを促進します。また、伝統的地場産業の振興を図るとともに、企業支援、企業誘致などにより地域経済の向上を図ります。





### 3 基本方針

#### 商業

にぎわいのある中心市街地づくりや商店街の活性化を図るため、商工会や商工会議所活動への支援、商工業者への助成などを拡充するほか、空き店舗対策、各種イベントの充実などによる集客力の向上に努めます。

また、市民が集い、憩い、ふれあい、交流する街なか観光の拠点施設となっている市民プラザについて、利便性や機能性の向上を図るとともに、既存施設等を活用した新たな商業施設の整備に努めます。

#### 工業

伝統的地場産業の振興を図るため、後継者の育成や新たな販路拡大、業種を融合した新たな商品の開発などが容易にできる環境の整備を図るほか、これらの地場産品を広く内外にPRし、観光客などに提供する地場産業振興の拠点としての総合物産館の整備に努めます。

また、市内中小企業の経営基盤の安定化のため、融資などの資金援助をはじめ、各種講演会やセミナーを開催するなど、企業の意識改革や競争力の強化を図ります。

加えて、地域経済の向上と地元企業による雇用の増加を図るため、積極的に企業誘致活動や立地企業への支援を行っていくほか、新たな産業拠点の整備に努めます。

#### 【施策体系図】





## 4 主な取り組み

施策名	施策の内容	
(1) 産業振興体制の整備・強化	①	伝統的な地域産業や、小売業、誘致企業、農業などの連携を図ります。
	②	商工会議所と商工会の財政面を支援することにより、商工業者への支援や創業者支援への指導内容の充実などを図ります。
(2) 市街地・商業の活性化	①	湯沢市中心商店街等振興条例による支援を行い、商店街の空き店舗の解消と商業の活性化を推進します。また、民間団体等と連携して、イベントを開催します。
	②	市民プラザを運営するとともに、大型空き店舗の活用を図ります。
(3) 地域産業の活性化	①	産業支援センターを核とし、後継者づくり、人材育成や新商品の研究開発などに取り組みます。
	②	地場産業振興拠点施設を整備します。
	③	特産品を観光客や市民に総合的に紹介したり、交流できる施設や機能を整備します。
(4) 中小企業の経営支援	①	金融機関に預託し、金融の円滑化を図ります。また、商工業団体と連携し、セミナー等を開催します。
(5) 企業誘致の推進	①	企業誘致活動や立地企業へ用地確保等の支援を推進します。

## 5 目標とする指標

指標名	単位	現状	目標
空き店舗率	%	8	5







## 第3節 観光の振興

### 1 現状と課題

余暇時間の増加やライフスタイルの変化、少子高齢化などの社会情勢の変化とともに、観光に対するニーズも多様化が進んでおり、これらに対応した観光地づくりや観光振興施策が求められています。

本市は、西栗駒山系の雄大な自然のほか、秋の宮、泥湯、小安峡などの温泉郷を擁し、豊富な温泉資源に恵まれています。また、清れつな水や木材などの自然資源を生かした酒・うどん・漆器・曲木家具製造なども盛んな地域であるほか、七夕絵どうろうまつり・犬っこまつり・小町まつりなどの地域特有の伝統行事やイベントなど、たくさんの観光資源を有しています。

今後は、西栗駒山系の自然資源を生かした観光や魅力ある温泉観光地づくり、歴史や文化にはぐくまれた行事観光やイベントなどの充実による、一層の観光の振興が必要となっています。

また、県内外へのPR強化や観光に携わる人材の育成、観光関係団体への支援などによる観光地づくりの推進、地場産品や特産品の販売促進など地域の特色を生かした物産事業の展開などが必要となっています。

### 2 目標

地域の多様な資源を活用し、観光客数の増加を図ります。

### 3 基本方針

観光に携わる人に限らず、市全体のホスピタリティ<sup>\*</sup>を向上させることにより、来訪者の満足度を高め、リピーターの獲得と口コミ効果による来訪者の増加につなげます。

また、本市の豊富な観光資源を再評価するとともに、新たな掘り起こしを行うことにより、観光の質を高め、来訪者の信頼の獲得につなげます。

#### 【施策体系図】



<sup>\*</sup>ホスピタリティ

サービス業でよく使われる、「心をこめたもてなし」、「もてなしの心」という意味で、訪問者を丁重にもてなすこと

## 4 主な取り組み

施策名	施策の内容
(1) 観光拠点施設等の整備・運営	① 各観光施設を維持管理するとともに、連携を図り、魅力アップを図ります。
	② 観光宣伝・情報発信事業を行います。
	③ 自然観光資源の環境の維持と自然と調和した整備を実施します。
	④ 民間団体主催のイベントを支援します。
	⑤ 七夕絵だるま祭り、犬っこまつり、小町まつりなどの大型観光行事の開催を支援します。
	⑥ 商工業や農林業などの連携を図るほか、観光物産団体7団体の一本化と法人化に向けての支援を行います。
	⑦ 観光拠点を結ぶ道路や案内看板など観光アクセスの整備を進めます。
	⑧ 各種キャンペーン等を実施するとともに、新たな観光旅行商品の開発を行います。【3.6.1へ再掲】
	⑨ 道の駅おがち「小町の郷」を核とした雄勝野地域づくり事業の推進を図ります。
	⑩ 歴史的建物や街並みなどを生かしたまちづくりを推進します。
(2) 魅力ある温泉観光地の形成	① 給湯施設の維持・管理及び整備・改善を進めるとともに、温泉街の景観や環境の整備を図ります。
	② 小安峡・奥小安の観光拠点を整備します。

## 5 目標とする指標

指標名	単位	現状	目標
観光入込客数	千人	1,882	1,958







## 第4節 雇用・労働対策の充実

### 1 現状と課題

日本経済の景気は、消費の弱さが見られるものの、回復しており、先行きについても、企業部門の好調さが持続しており、これが家計部門へ波及し国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれています。また、雇用情勢においても、厳しさが残るものの改善に広がりが見られています。

しかし、景気回復による地域経済への波及の動きは鈍く、本市においても、有効求人倍率の低迷や、事業所数、従業員数の減少による地域経済の縮小など、雇用を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いています。

今後は、地場産業の振興や企業誘致の推進による雇用の創出を図るほか、雇用等に関する情報提供や職業技術・技能の普及への支援、起業に対する支援による就労機会の拡大などが必要となっています。

### 2 目標

雇用環境の向上、職業技術・技能の普及に関する取り組みなどを支援します。また、就労機会の拡大、再雇用を促進します。

### 3 基本方針

企業誘致の促進と起業支援を図るとともに、地域ブランド力強化で地域産業や既誘致企業等の振興による内発型雇用創出の推進を図ります。

また、ハローワーク湯沢等と連携し、就労の促進や離職者等の早期復帰を支援します。

#### 【施策体系図】

#### 4 雇用・労働対策の充実

(1) 就業機会の拡大

## 4 主な取り組み

施策名	施策の内容
(1) 就業機会の拡大	① 国の地域雇用創造支援事業等の活用やハローワーク湯沢等関係機関との連携を強化します。【1.4.5へ再掲】【5.2.2へ再掲】
	② 地場産品コンクールや新商品開発支援等を実施してブランド力を強化し、市内事業所等の内発的な力を誘発し、雇用創出を図ります。【1.4.5へ再掲】【5.2.2へ再掲】
	③ 高齢者、新卒者に対する支援のほか、中年者やU・J・ターン者に対する無料職業紹介を行います。また、離職者等の早期復職を支援します。【1.4.5へ再掲】【5.2.2へ再掲】

## 5 目標とする指標

指標名	単位	現状	目標
有効求人倍率	倍	0.45	上昇







## 第5節 異業種間の連携

### 1 現状と課題

急激な情報通信技術の革新、国際化の進展、消費者ニーズの多様化など、企業を取り巻く社会経済環境は大きく変化しています。

こうした状況の中、企業が成長を遂げていくためには異分野の企業の持つ技術力、マーケティング力、経営ノウハウ、情報などの企業資源を相互に活用しあう「異業種交流・連携」が重要な経営戦略の一つになります。

本市では、農林業をはじめ商工業、観光産業などの各産業間における企業活動上の連携はじゅうぶんとはいえ、各産業の総体的な振興を図るためには、それぞれの産業の特徴を生かした異業種間の連携を促進していく必要があります。

### 2 目標

異業種間の連携や交流を図ります。

### 3 基本方針

それぞれの企業が持つ特徴を生かした連携の取り組みを支援します。

#### 【施策体系図】

#### 5 異業種間の連携

##### (1) 異業種間の連携・交流

### 4 主な取り組み

施策名	施策の内容
(1) 異業種間の連携・交流	① 酒造業及び酒造好適米の産地産業支援のため、マーケティング実践活動や販売形態及び販売ルートなどの拡大を支援します。
	② 異業種間の有機的な連携を図るため、農林業や商工業及び観光業経営者や関係団体の合同研修、交流会などを行います。

## 第6節 地場産品の販路拡大

### 1 現状と課題

本市には、湯沢銘酒、稲庭うどん、川連漆器、曲木家具など全国に名の知られた伝統的地場産品があるほか、米・果樹・野菜・肉牛など豊富な農畜産物があります。これら地場産品等の付加価値の向上やブランド化に加え、流通販路の拡大による地場産業の振興を図ることが必要となっています。

### 2 目標

伝統的地場産品及び農畜産物を特産品として、高付加価値化とブランドの確立を図り、業界団体とともに販路を拡大します。

### 3 基本方針

伝統的地場産品や農畜産物の生産方式の確立と産直交流活動により、取扱量の拡大を図ります。

#### 【施策体系図】

#### 6 地場産品の販路拡大

##### (1) 地場産品の販路拡大

### 4 主な取り組み

施策名	施策の内容
(1) 地場産品の販路拡大	① 安全な農畜産物等の販路の拡大、都市住民との交流促進など産直交流事業を推進します。
	② 各種キャンペーン等を実施するとともに、新たな観光旅行商品の開発を行います。【3.3.1の再掲】

### 5 目標とする指標

指標名	単位	現状	目標
生協取扱品	品目	8	13
生協取扱金額	百万円	1,237	1,300